

[各委員会報告]

ジャーナル編集委員会

第9号(第5巻第1号)から村研ジャーナルへの投稿方法が随時受け付け制に変わっています。編集委員会では投稿原稿を随時受け付けし、論文管理委員と審査員による査読の上採否を決定し、掲載決定の順に村研ジャーナルに掲載していきます。随時受け付け制は、投稿のチャンスを増やすとともに、安定的な原稿の確保を図って、村研ジャーナルの充実を目指すものです。

つきましては、会員の皆様からの研究成果を是非とも投稿していただけますよう、お願い申し上げます。また、投稿原稿のスタイルは「論文」や「研究ノート」の他に、「論点」「エッセー」「ノート(フィールドから)」での投稿も歓迎します。特に、第46回大会や地区研究会の発表者には是非とも投稿をお願いします。

皆様からの熱い論考の投稿をお待ちしております。

(1) 投稿申込事項：任意の用紙に以下の事項を記入して編集委員会宛に申し込んで下さい。

- ①氏名 ②郵便番号・住所・電話番号 ③所属・身分・電話番号・(Email)
- ④論文・研究ノート、フィールドノートなどの区分 ⑤④の題目 ⑥④の概要
- ⑦使用ワープロ類の機種とそのソフトの名称

(2) 投稿してから掲載されるまでの期間

- ①9月刊行(奇数号)については、その年の3月末日が最終期限
- ②3月刊行(偶数号)については、その年の8月末日が最終期限

(3) 申込先

〒108-0014 東京都港区芝4-16-4ちくだんビル

農村環境整備センター内〔村研ジャーナル編集事務局〕重岡 徹 あて

電話：03-5484-4521 Fax：03-5484-4541

『年報』編集委員会から

昨年末の編集委員会では、『年報』第35集について、編集方針やスケジュールなどを以下のように決定しました。

1) 特集については、今年度大会テーマセッションを中心として編集します。テーマセッションの報告者に論文原稿を依頼するとともに、それ以外に大会当日の報告者のなかから原稿を依頼することにしました。また、特集のテーマに関連した自由投稿を募集します。その要領は次の通りですので、ふるってご応募下さい。

投稿テーマ：「農村高齢化」および「地域福祉」に関する論文
枚数：400字詰め50枚（図表込み）

申込締切：1999年2月末日

原稿締切：1999年4月末日

申込先：小林一穂 〒980-8577仙台市青葉区片平2-1-1

東北大学大学院情報科学研究科（片平）TEL022-217-5073（直通・FAX共用）

2) 研究動向欄については、次の方々に依頼しました。ぜひとも論文、抜刷などを執筆者へお送り下さい。（4月末までに）

史学・経済史学：伊藤康宏

経済学・農業経済学：宇佐美繁

社会学・農村社会学：荒樋 豊

文化人類学：末原達郎

外国研究（アフリカ）：池上甲一

3) 今後のスケジュールですが、自由投稿論文の申込を2月末に締め切り、4月末の原稿締切をへて審査をおこないます。また、依頼原稿を5月10日に締め切って編集委員会の責任で査読します。研究動向の原稿とあわせて、7月には全原稿を農文協へ入稿する予定です。
(小林一穂)